令和7年度　　看護部継続教育計画

教育目的　　組織人としての自覚を持ち質の高い責任ある看護を提供できる看護師を育成する

教育目標

1．専門職としての看護実践能力を高める
2．看護職として自覚を持ち行動できる
3．専門職として自覚でき学習への努力ができる
4．自己学習の必要性を認識し看護の専門性を高めるように努める
5．個別性のある看護援助が実践できる
6．役割を通して自己の成長が出来る
7．現場の課題達成に向けてリーダー的立場から看護研究に参画する
8．日常の看護実践から現場の課題を見出し研究的態度を高めると共に看護の質的向上を図る

研修名			時期	時間	対象	目的	講師
基礎研修	新採用者研修	新採用者研修	4月1日･2日	12時間	新採用者･ラダーI	病院組織の理解と社会人としての自覚を持つ	各部門長・看護部長・ＧＲＭ
		看護部新採用者オリエンテーション	4月2日　4月3日	8時間		看護部組織と部署の説明を行い理解を深める	看護副部長・看護師長
		看護技術訓練	4月4日～30日	16時間		血管確保・輸液ポンプ操作等の基礎技術訓練	所属部署看護師
	ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟⅠ研修	コミュニケーション・看護記録につい	4月4日	4時間	新採用者･ラダーI	看護職としての社会人基礎力について学ぶ、看護記録の目的・ポイントを学ぶ	研修担当者
		感染管理・褥瘡ケア・転倒転落予防・立位介助	5月2日	7時間		実務に役立つ標準感染予防策を習得する(実技訓練を含む)・転倒転落予防対策を通して患者の安	感染看護CNS・皮膚排泄ケア認定看護師・転倒転落予防指導士・ﾘﾊﾋﾞﾘ科担当者・研修担当Ns
		ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ・看護必要度・ME機器	6月6日	7時間		看護の現場で的確な観察や判断を行うために必要な知識を習得する　看護必要度について目的・評価基準・方法について学ぶことができる ＭＥ機器の取り扱いを学び実践に生かすことができる	急性重症患者看護CNS・臨床工学士・看護必要度委員会委員
		輸血管理・麻薬管理・医療安全	7月4日	4時間		輸血・血液製剤の取り扱いについて学ぶ 麻薬の取り扱い方法について理解できる　ﾁｰﾑの活動を通しﾁｰﾑ医療の実際を知る	臨床輸血看護師・薬剤科長・研修担当NS
		フィジカルアセスメント・看護必要度・先輩看護師と交流	8月1日	6.5時間		看護の現場で的確な観察や判断を行うために必要な知識を習得する　看護必要度入力の精度を高める事ができる 先輩看護師とともに思いを語る	集中ケアCN・研修担当Ns
		死後のｹｱ･将来の自分像・医療安全	9月6日	4時間		日常業務に伴う医療事故の危険性が理解でき注意しながら業務が行える　エンゼルケアとグリーフケアを学び実践に生かすことができる	緩和ｹｱCN・研修担当NS
		防災訓練	10月	4時間		災害発生時の役割が理解でき、対応できる	防災訓練担当者
		看護倫理・臨床倫理・人工呼吸器講習	10月3日	2時間		人工呼吸器の取扱い・呼吸管理について学ぶ	集中ケアCN
		手術室見学	**11月**	**8時間**		気管内挿管の介助を実践し、急変時対応に生かせる　手術室看護の役割を知る	**手術室看護師長**
		課題学習	12月5日　1月9日	5時間		実践を通して自己の学習課題に取り組み成果を発表して相互の学びとする	教育委員
	注射認定プログラム	講義と演習	4月4日	4時間	新採用者･ラダーI	注射の薬剤・安全・感染・血管・皮下注射・皮内注射	医師・薬剤師・感染CNS・化療CN
		筆記試験	5月2日	1時間		静脈注射基礎知識筆記試験	研修担当看護師
		講義と演習	6月6日	1時間		静脈注射認定に必要な演習	研修担当看護師
		講義と演習	7月4日	4時間		静脈注射認定試験	研修担当看護師
		講義と演習	8月1日	1.5時間		静脈注射演習・認定試験	化学療法認定看護師・研修担当看護師
	ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟⅡ研修	看護過程と看護診断(NANDA)	5月9日･9月19日･9月26日 R8年4月　報告会	20時間	卒後2年目 ラダーⅠ	受け持ち看護師、代行看護師の役割を理解し、受け持ち看護師として看護を実践する。	外部講師(内田一美先生)※ 教育委員
	ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟⅢ研修	**リーダー役割事前準備**	5月16日	1時間	卒後3年目 ラダーⅠ	看護感・達成感・課題感・感情面など自身ができていないこと、できていることに気づき合い今後の課題を明確にできる。	研修担当看護師
		講義	9月12日	1時間		様々な場面でのリーダー業務、リーダーシップのタイプを理解する	研修担当看護師
		プリセプター役割	12月12日	1時間		プリセプター看護師の求められる役割を理解する	研修担当看護師
		指導案作成の進捗状況の確認	2月13日	1時間		指導案計画・企画力の習得	研修担当看護師
		指導案の完成　各部署でのプレゼンテーション実施	3月13日	1時間		リーダーシップ発揮に必要な踏み出す力、共有力、事故研磨の発揮に備える	研修担当看護師
	ﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟ研修	プリセプター役割について	4月18日	1時間	卒後4年目 ラダーⅠ	プリセプター看護師の役割を開始するにあたり問題を共有する	教育委員
		新人指導の進捗状況	**6月20日**	1時間		新人指導計画の修正等プリセプターで共有	教育委員
		新人看護師プリセプター交流	8月1日	1時間		プリセプティ看護師と思いを共有し関係を構築する	教育委員
		新人看護師指導の進捗、プリセプター役割の遂行に向けた取り組み	10月17日	1時間		リーダーシップに必要なスキルを身に着けるに必要なことを検討	教育委員 エルダー看護師
		成果発表	R8年2月20日	1時間		研修目標に向けて実践した成果を振り返り学びを共有する	教育委員
役割研修	エルダー研修	新人看護職員研修ガイドライン	4月22日	1時間	ラダーⅢ	新人看護職員研修ガイドラインを知る　年間活動計画	教育委員
		新人看護職員進捗状況報告	5月21日	0.5時間		各部署での新人看護職員の進捗状況を共有し、必要な支援の修正ができる	教育委員
		技術評価　業務遂行評価　指導評価	10月29日	2時間		新人看護師技術評価　業務遂行評価を分析し課題を見出す　プリセプター指導の評価を行う	教育委員
		年間活動評価　OJT準備	令和8年1月21日	1時間		新人育成体制の評価を行う	教育委員
ﾗﾀﾞｰ研修	リーダーシップ実践研修	PDP講義　活動計画書作成	5月20日・6月18日・7月24日	5時間	ラダーⅡ	事前課題を基に活動計画書を作成する	教育委員
		中間報告・グループワーク	8月20日	1時間		今後のリーダー役割遂行に向けた自己の課題、対策を考える。	教育委員
		活動経過報告・グループワーク	10月31日	1時間		活動報告書の修正	教育委員
		リーダー実践報告	12月18日	1時間		リーダーとしての自己の実践を振り返る	教育委員
	看護倫理カンファレンス・ファシリテーター育成研修	倫理的課題を解決するためのツール	5月23日	1時間	ラダーⅢ	臨床倫理問題の分析方法を理解する	認知症看護認定看護師 教育委員
		倫理カンファレンスに参加	6月27日	1時間		ジョンセンの臨床倫理の4分割法を基に情報を整理し倫理的問題を明らかにして介入の方向性を明らかにする	認知症看護認定看護師 教育委員
		倫理カンファレンスを開催	8月22日	1時間		倫理カンファレンスの開催方法について事例展開のリフレクションを通して理解する。	認知症看護認定看護師 教育委員
		実践報告会	10月24日	1時間		実践報告を共有する	認知症看護認定看護師 教育委員
	記録リーダー育成研修	看護記録の基本を理解する（講義）	5月13日	2時間	ラダーⅢ	看護記録の目的、必要性が理解できる	外部講師(内田一美先生)※
		記録の監査から問題解決に向け取り組	6月10日･10月22日	3.5時間		1回目の学びを踏まえ活動計画書を作成できる　他部署の監査を通し「患者が見える記録」について理解できる	教育委員
		実践報告会	1月29日	1時間		記録リーダとしての活動内容を発表し、共有できる	教育委員
	看護師の魅力と役割	看護師の魅力と役割	7月25日･10月7日	3時間	看護部職員	看護師の魅力や役割について再認識し、日々の看護へのモチベーションアップにつなげる	外部講師(内田一美先生)※
	看護研究研修	研究計画書の書き方	6月21日	3時間	看護研究発表を目指す看護職員	看護研究の基礎知識を学びリーダーシップを取りながら研究に取り組む事ができる	外部講師(宗村弥生先生)※
		研究の進捗状況に合せた個別指導	7月19日･8月23日･10月25日 令和7年1月20日(発表)･2月21日	20時間		看護研究について取り組んでいる研究実施者の研究の質の向上を図る	

助手研修	看護補助者研修	看護部組織と補助者の役割 患者誤認予防対策	5月29日	1.5時間	看護補助者全員	病院の機能と組織､看護部の方針と目標を理解し､看護補助者の役割を認識する 患者誤認による重大事故を起こさないための方法を知り実践できる	教育委員
		感染予防について	7月25日	1.5時間		感染防止・事故防止について正しい知識を身につけ、安全な対応が出来る	感染看護CNS
		医療安全・守秘義務・個人情報保護に	9月25日	1.5時間		擬似体験することで患者の状態がわかり、必要な援助が安全・安楽に行える 守秘義務・個人情報保護について理解し実施できる	ＧＲＭ
		倫理の基本 補助業務の基本的な知識技術(食事介助)	11月27日	1.5時間		医療機関で求められる倫理的な視点について理解できる 患者体験を通して、実際の患者への声かけや対応について考える	理学療法士・摂食嚥下療法士 教育委員
		リフレッシュ研修	12月25日	1.5時間		日頃の悩みを話し合い相互理解と親睦を深める	教育委員